

畳 これを知っていれば損しないこと

宮島畳産業からのメッセージ 畳表編
 きっとお役に立ちます

保存版



イ草の育ちも
 こんなにも違いが

上級から下級のイ草を
 畳表にすると、こんな違いが
 上級品ほど長いイ草を使用、
 ヒゲの部分の長くなりませ



上級品 上級品二種用(1.20m以上)
 上級品一種用(1.30m以上)
 中級品 (1.40m以上)
 下級品 (1.50m以上)
 最下級 (1.60m以上)



中級品



下級品



畳業界に入り3年、今回あらためてイ草にこんなに種類や等級があることを再認識しました。
 お茶にもタイ米や古米・新米があるようにイ草にも中国産・国産があり、魚沼産コシヒカリがおいしいように
 熊本産の農家さんが一生懸命に育てたイ草はどれも丈夫で日焼けをしてもつやのあるきれいな緑け方
 でした。実際に皆様のお宅へ伺った時に見て実感しました。これから畳替えをお考えの方がいらっしゃれば
 参考にしてください。

タテ系によっても
 見分けがつかます

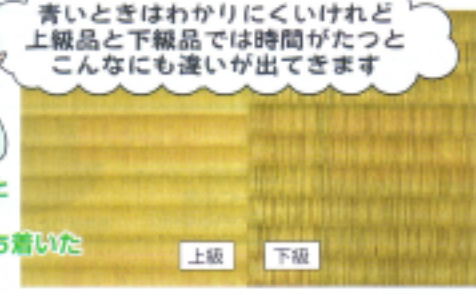


高級品ほどより織り詰めます。したがってタテ糸もより丈
 夫なものを使います。より厚手に織り詰めるため高級級
 品になると蔭のタテ糸二本のものもあります。



青いときはわかりにくいけれど
 上級品と下級品では時間がたつと
 こんなにも違いが出てきます

月日がたつと
 上級品は、
 きれいな落ち着いた
 雰囲気。



畳は青みがあるときは分かりにくいですが、月日がたつと上等な畳表ほど全体均一
 にきれいなあやめに変化、青畳にはない厚畳全体に落ち着いた雰囲気をも出し出
 てくれます。一方下級品になるほど変色した茶色のスジがたくさん出てきれいな変化
 をしません。

国産、それとも中国産？

約、国産1割・中国産9割という現実

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、もともとは国内産
 だけの「イ草」でしたが、現在約8割〜9割が中国産。改良された
 国内産と見分けにくくなってきましたが、使っていると通みや色
 などその差が現れてきます。
 それは、イ草の生育に適した酸性土壌ではないからのような
 中国産がなければ足りないのも事実ですが、長く使うには国産
 のしっかりしたものをすすめします。

畳選びのポイント

- ・産地が品質を大きく左右する(国産・中国産)
- ・品質にあった価格
- ・イ草がぎっしり織り詰めてある(目方が重い)
- ・畳表の織り目がすっきりきれいである
- ・中央と端の色が均一
- ・イ草が長くしっかりと充実している

ご挨拶



平素はご配慮を賜りありがとうございます。
 畳替えの際、お客様にお話を伺うと「畳のこ
 とはよくわからない」とおっしゃいます。比較
 したり考える機会も少ないと思いますが、こ
 れまで私たち畳屋の「正しい説明が不足し
 てきた」とこともあるのではないかと思います。
 品質・価格とも満足いく自分に合った、より良い選択をしていただ
 きたい。そんな思いで畳替えをされるときの大きなポイントを紹介さ
 せていただきました。まだ説明しきれないこともありますがお参考になれ
 ば幸いです。

最後に、これまで多くの方からご意見いただき感謝申し上げます。
 そのご意見を真摯に受け止め本当に喜
 んで頂けるよう日々努力していますので、
 家のためご指導ご鞭撻お願いいたします。
 代表取締役 宮島一弘

